

## 鎖製造からホタテ漁業用の網事業へ新分野進出 技術開発・新サービス開発で付加価値を向上

姫路市は国産鎖生産の中心であり、全国シェア約60%を占める。同社は、同市で和釘・船釘・丸環を製造する鉄工所として創業した鎖製造企業である。現在の売上構成は、ホタテ漁具関連40%、港湾・ため池関連40%、鎖関連20%である。ホタテ関連事業は、先代社長が新分野進出を目指して、既存の製鎖事業との関連性・相乗効果を勘案して開始した。2002年に北海道帯広市に駐在所を設けてホタテ漁の現場に足繁く出向き、地元漁師の話からヒントを得て企画開発した「ホタテ桁曳網」が主力製品である。

所在地 兵庫県姫路市四郷町山脇138  
電話/FAX 079-251-8010 / 079-254-8800  
URL <https://www.yamato-chain.com/>  
代表者 代表取締役 大和 哲太郎

設立 1971年  
資本金 1,000万円  
従業員数 19人



### 受注から製造・販売・組立・修理までの一貫サービス提供で信頼を獲得

同社の強みは、販路を漁協経由に限らず、個別客からの直接注文にも応じて製造・販売・組立・修理までを一気通貫で対応するビジネスモデルにもある。ホタテ関連事業の消費現場はオホーツク海沿岸であり、多くの同業他社には結びつきがほとんどない遠隔地である。これに対し、同社はいち早く北海道に駐在員を置き、地元漁師の声を直接聞き取りながら、顧客ニーズを製品・サービスに反映し、顧客との信頼関係を構築してきた。知名度が高まり、今では、桁曳網では約40%のトップシェアを有している。



ホタテ桁曳網漁業用「ホタテリング網」

### 鎖製造ノウハウを活かした技術開発による高耐久性の「焼き入れリング網」

同社は、技術開発を行い顧客ニーズに応えることで業績を伸ばしてきた。例えば、ホタテ桁曳網漁業用の袋状の「ホタテリング網」では、独自の技術・ノウハウで、部品であるリングに焼き入れ加工を施すことにより、強度を高め摩耗性を抑える特長を実現した。価格は焼き入れしない従来品に比べて約15%高いものの、耐用年数は従来品の1年程度に対し2年以上と長く、高耐久性により費用対効果の点でも優位性を有する。駐在員による顧客漁師へのニーズの聞き取りを継続しながら、網への改良を積み重ねている。



強力な焼き入れにより耐久性を増したホタテリング

### ものづくり補助金を活用してはじめた新サービスによる付加価値向上

2018年に、金属部品の強度試験を外注していた事業者が業務受託を止めた。これに対して、同社は「ものづくり補助金」を活用して強度試験機を導入し、外注先では抜取方式だった試験を、自社で全数試験することにした。また、顧客漁師が使用中の同社製の網について、磨耗状況などを診断して交換時期などを助言する品質診断サービスも始めた。外注先の請負中止というピンチを、品質向上や新サービス開始のチャンスに変える工夫を行い、自社製品の付加価値向上に結びつけている。



培った技とノウハウが発揮される鎖製造の現場